



川田未依奈ちゃん
「踊るの大好き♪♪」
(上影森)



阿左美新太くん
「にいにみたいに
大きくなるぞ!」
(久那)



高橋 芽依ちゃん
「お歌がだいすき!」
(番場町)



島田 碧翔くん
「お兄ちゃん大好き♪」
(中村町)



応募方法

1～1歳半程度の子市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。
※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M(1080×1920)以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

(秩父高校)

風薫る未来に向けて



今年の卒業式の様子

新型コロナウイルス対策にともない本校では3月2日から3月24日の終業式まで臨時休校となりました。3月11日には卒業証書授与式が予定されていましたが、卒業生と教職員のみで挙行しました。保護者や在校生がいない中でも、卒業生たちは元気に巣立っていきました。

1・2年生たちは、授業を補い家庭学習等にも励めるよう、学校から電子メールやインターネットを活用して連絡や課題の配信なども行いました。少人数に分散した形での登校日を受け、今後の生活や学習について話をしました。生徒たちは明るい笑顔で登校していました。

1・2年生たちは、授業を補い家庭学習等にも励めるよう、学校から電子メールやインターネットを活用して連絡や課題の配信なども行いました。少人数に分散した形での登校日を受け、今後の生活や学習について話をしました。生徒たちは明るい笑顔で登校していました。



昨年の入学式の様子

入学者選抜は予定通り実施でき、200人を超える新入生が仲間入りします。大学進学に向けて最終学年となった3年生、学校の中核を担う2年生とともに、期待と夢を持った新入生がそれぞれの夢に向かって秩父高校の新年度がスタートします。



市民文芸

俳句

関田 誓炎 選

身じろぎぬ川藻まといて寒の鯉
あるがまま生きてゆきたし寒の入
足もとの風やわらかし露の臺
梅の香に誘われ婆の背筋のび
春雨や巡礼鈴を鳴らし去る
水仙咲く自作の鉢に愛おしき
梅開く咳くようにまたひとつ
春時雨相合傘の二人かな
冬すみれ道辺に一輪笑むように
命短し恋せよ乙女春來たり

上町 濱田 秀典
荒上田野 橋本 和子
上野町 櫻井 照子
野坂町 浅見 和子
中村町 高野 恭幸
日野田町 加藤しげ子
永田町 栗原 昌次
日野田町 原 和幸
上町 濱田 愛子
三峰 山中 資治

〔評〕 濱田秀典さんは寒い水底に潜んでいる鯉が、川藻を身にまといなながらも、身動きをして力強く生きる姿を詠んだ。高野の橋本さんは「あるがままに生きてゆきたい」と何事にも動じない心の内を、櫻井さんは「足もとの風やわらか」と女性ならではの俳句を。浅見さんは梅の花の香りに誘われて元気な様子を、高野さんはしつとりと降る雨の中を歩く巡礼の厳かを書きとめた。加藤さんは自作の鉢に咲く水仙を大事にし、栗原さんは梅の花が開くのを「咳くよう」と表現。原さんは明るく艶のある雨の中の男女の姿を、濱田愛子さんは冬草の花を「笑むよう」と感じ、山中さんは歌の歌詞「命短し恋せよ乙女」の引用が面白い。

※次回5月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず通常はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句 4月末締切→6月号に掲載

短歌 5月末締切→7月号に掲載